

2021年度 第2四半期 (2021年9月期) 決算の概要

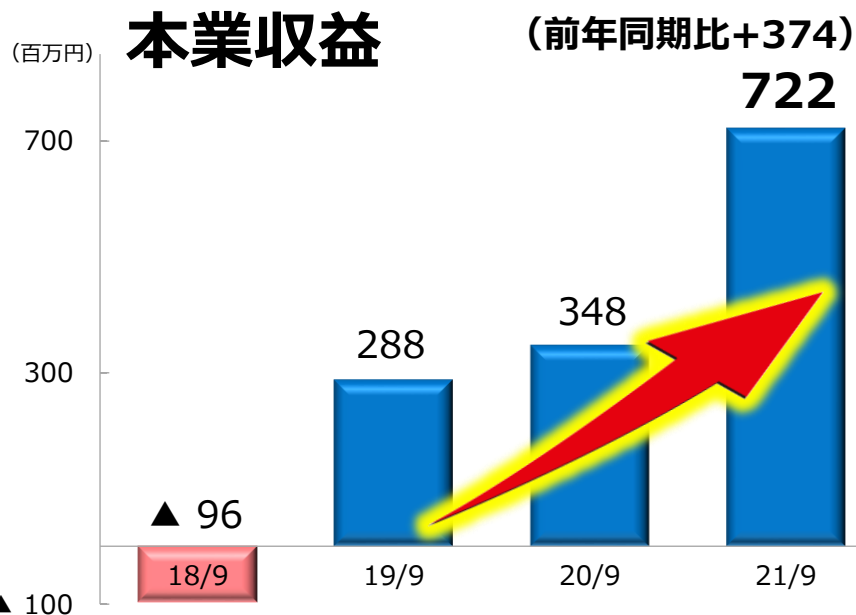
数字は原則として単体ベース、単位未満切捨て



1. 2021年9月期決算トピックス	P. 1
本業収益	P. 2
預 金（NCDを含む）・預かり資産	P. 3
貸 出（私募債含む）	P. 4
2. 2021年9月期決算の概要	P. 5
2021年9月期の実績 ① ②	P. 6
預 金（NCDを含む）・預かり資産	P. 8
貸 出（私募債含む）	P. 9
有価証券	P. 10
健全性	P. 11
2021年度（2022年3月期）の決算予想	P. 12
3. SBIグループとの連携	P. 13
SBIグループとの主な業務提携一覧および具体的連携について	P. 14
4. 2021年度の主な取組み	P. 18
5. 当行のプロフィール	P. 23

1. 2021年9月期決算トピックス

本業収益

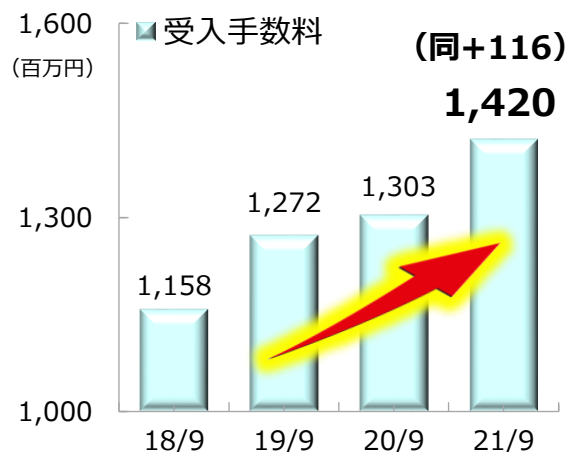


金融機関の本来の収益力をあらわす
本業収益(投信解約損益を除くコア業務純益)は
722百万円(前年同期比+374百万円)と
前年比倍増。収益力強化が着実に進展

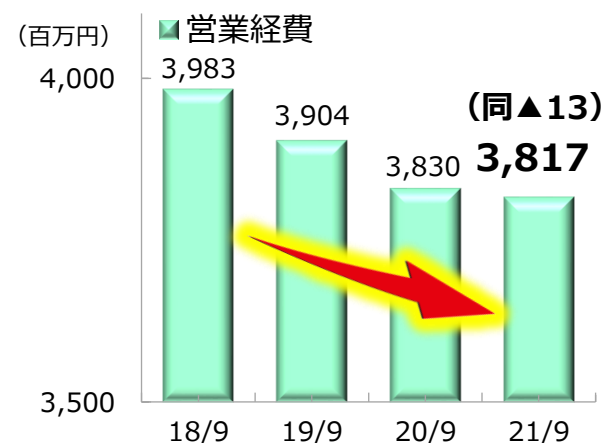
- **貸出金利息**は、営業店事業性融資を中心に同+142百万円増加
- **受入手数料**は、同+116百万円増加
- **営業経費**は、同▲13百万円削減



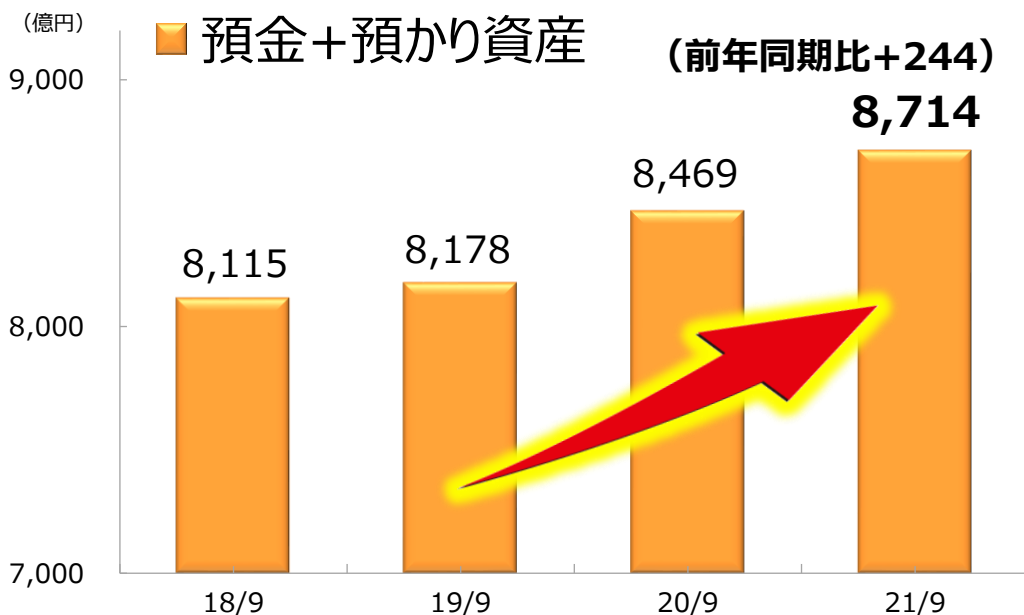
- コロナ対応融資を中心に**地元中小企業へ積極的に対応し**貸出金利息が増加



- 法人においては**私募債発行手数料**、個人においては**金融商品仲介手数料**などが増加

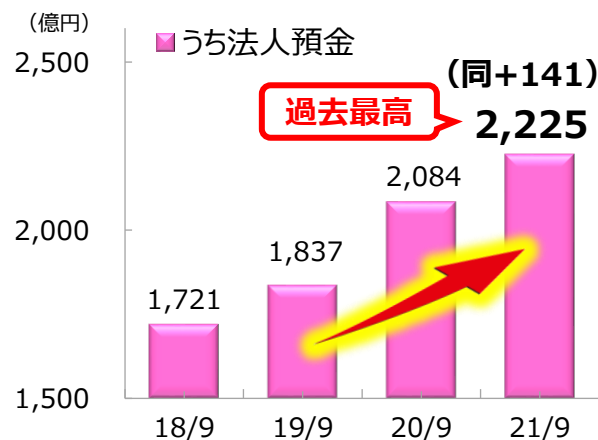


- PC1人1台化や減価償却費増加により物件費が増加するも、**営業経費全般**を削減

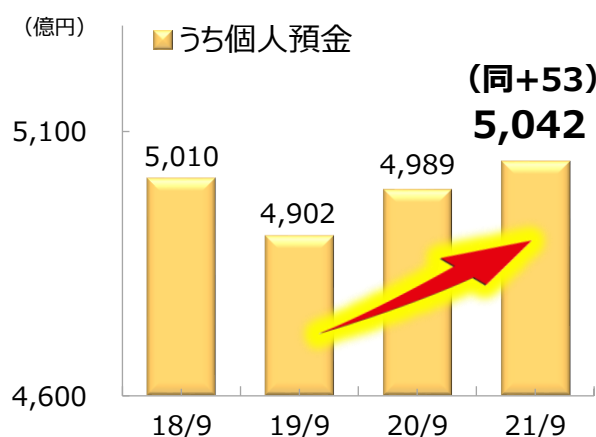


預金+預かり資産の残高は、
8,714億円（前年同期比+244億円）と**法人預金**を中心に増加

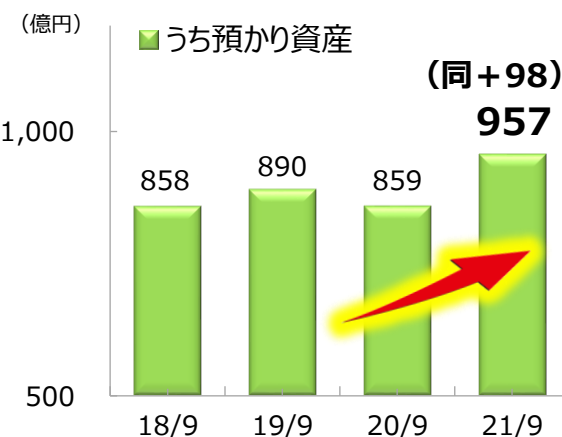
- 法人預金は、同+141億円増加し、**過去最高を更新**
- 個人預金は、同+53億円増加
- 預かり資産は、同+98億円増加



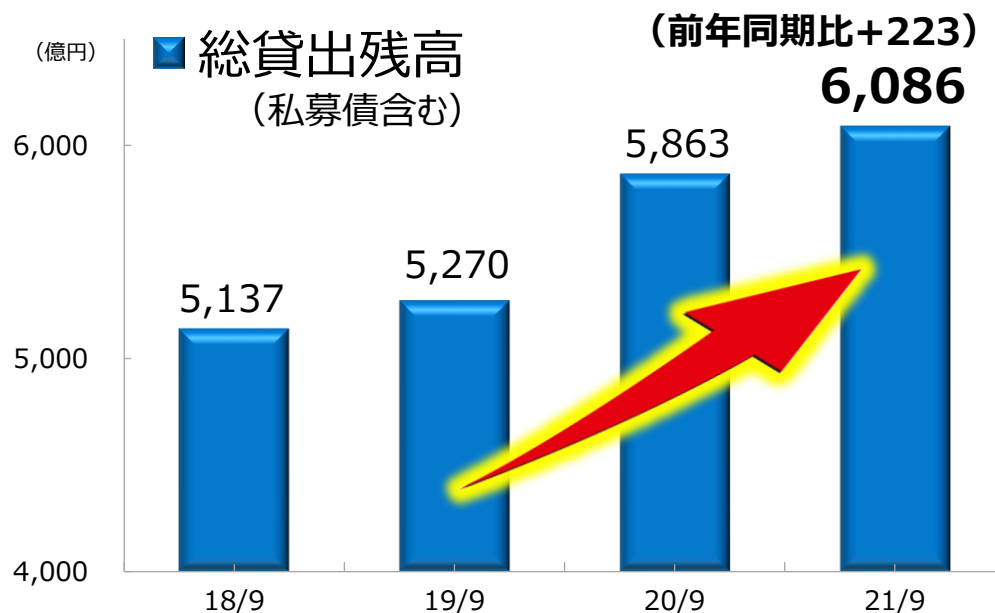
- 事業性融資先数の増加などにより法人預金が増加



- 障がい者スポーツ応援寄付型定期預金の支持などにより増加

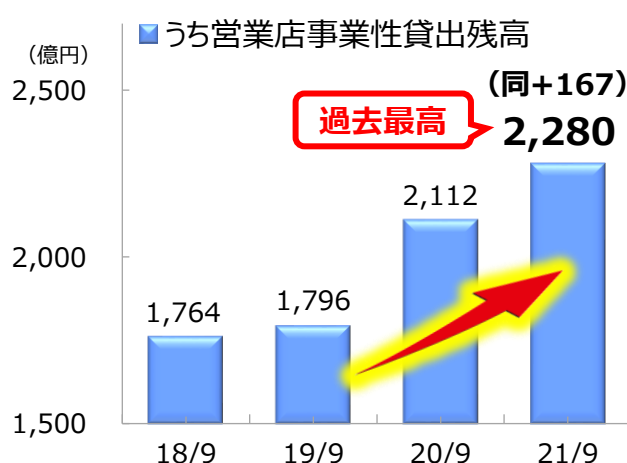


- 投資信託は、同+57億円
保険は、同+45億円の増加

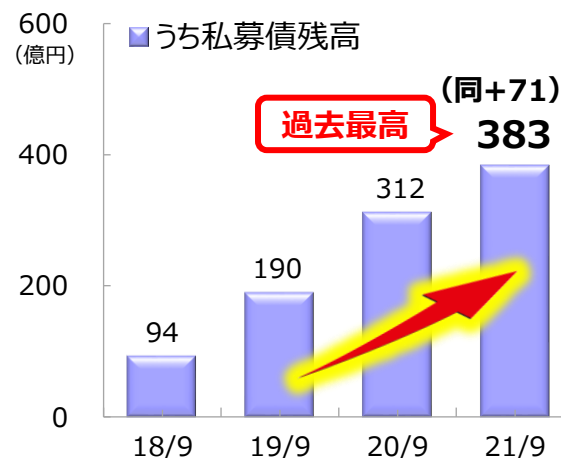


総貸出残高は、6,086億円
（前年同期比+223億円）と
事業性貸出を中心に増加

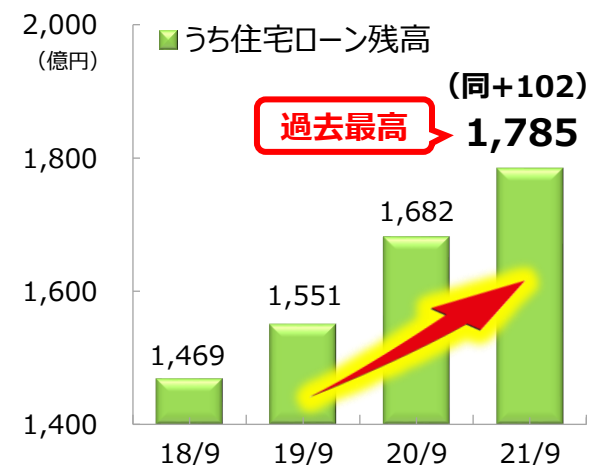
- 営業店事業性貸出残高は、同+167億円
と、コロナ対応融資を中心とした地元中小企
業向けの資金繰り支援に積極的に対応し、
過去最高を更新



- コロナ対応融資を中心に地元中小企業へ積極的に対応し同+167億円増加



- SDGs危機管理サポート寄付型私募債
など私募債受託が同+71億円増加



- ソリューションプラザ、ローンプラザを中心に
住宅ローンを推進し同+102億円増加

2. 2021年9月期決算の概要

単 体

(百万円)				
	21/9	20/9	前年同期比	
1 経常収益 (①+⑦)	5,295	5,767	▲471	
2 業務収益①	5,202	5,583	▲380	
3 貸出金利息	3,362	3,219	142	
4 有価証券利息配当金⑦	358	1,030	▲671	
5 (A)投信解約益	-	714	▲714	
6 受入手数料	1,420	1,303	116	
7 国債等債券売却益②①	2	-	2	
8 業務費用③	4,607	6,755	▲2,147	
9 一般貸倒引当金繰入④	125	300	▲175	
10 国債等債券売却損・償還損・償却⑤②	5	1,934	▲1,929	
11 営業経費	3,817	3,830	▲13	
12 人件費	1,770	1,807	▲36	
13 物件費	1,767	1,703	64	
14 業務純益⑥ (①-③ (金銭の信託見合費用除く))	594	▲1,171	1,766	
15 (B)コア業務純益 {⑥- (②-⑤) +④}	722	1,062	▲340	
16 本業収益 (投信解約損益除くコア業務純益) (B)-(A)	722	348	374	
17 臨時収益⑦	93	184	▲90	
18 株式等売却益④	-	48	▲48	
19 償却債権取立益	21	46	▲25	
20 臨時費用⑧	238	1,252	▲1,014	
21 個別引当金繰入額	192	76	115	
22 株式等売却損・償却④	0	1,101	▲1,100	
23 臨時損益⑨ (⑦-⑧)	▲144	▲1,068	923	
24 経常利益 (⑥+⑨)	449	▲2,240	2,689	
25 特別損益	19	▲5	25	
26 中間純利益	390	▲2,256	2,646	
27 不良債権処理費用	317	376	▲59	
28 有価証券関係損益 (⑦+④-②+⑤-④)	354	▲1,957	2,312	

21年9月期 損益状況

21年9月期は減収増益

投信解約損益を除くと実質的に増収増益(P7にて説明)

本業収益は着実に増加

● 業務収益は5,202百万円。前年同期比▲380百万円の減収

- ・ 貸出金利息は、コロナ対応融資を主因に貸出金平残の増加により同+142百万円の増加
- ・ 有価証券利息配当金は、2020年第2四半期に有価証券含み損を一掃。政策投資株式を除き、債券中心の運用に変更
- ・ 受入手数料は、法人においては私募債発行手数料、個人においては投信販売や金融商品仲介手数料の増加などにより、同+116百万円の増加

● 業務費用は4,607百万円と、同▲2,147百万円の減少

- ・ 国債等債券売却損・償還損は、昨年度実施したロスカット等の影響がなく同▲1,929百万円の減少
- ・ PC1人1台化や減価償却費増加により物件費は増加するも、営業経費全体では、同▲13百万円の減少

● 業務純益は594百万円、コア業務純益は722百万円、本業収益(投信解約損益を除くコア業務純益)は722百万円(同+374百万円増加)と着実に増加

● 経常利益は449百万円、中間純利益は390百万円

● 貸出金利息(同+142百万円)および受入手数料(同+116百万円)が増加し、営業経費(▲13百万円)の削減により本業収益が増加し、中間純利益は390百万円を計上

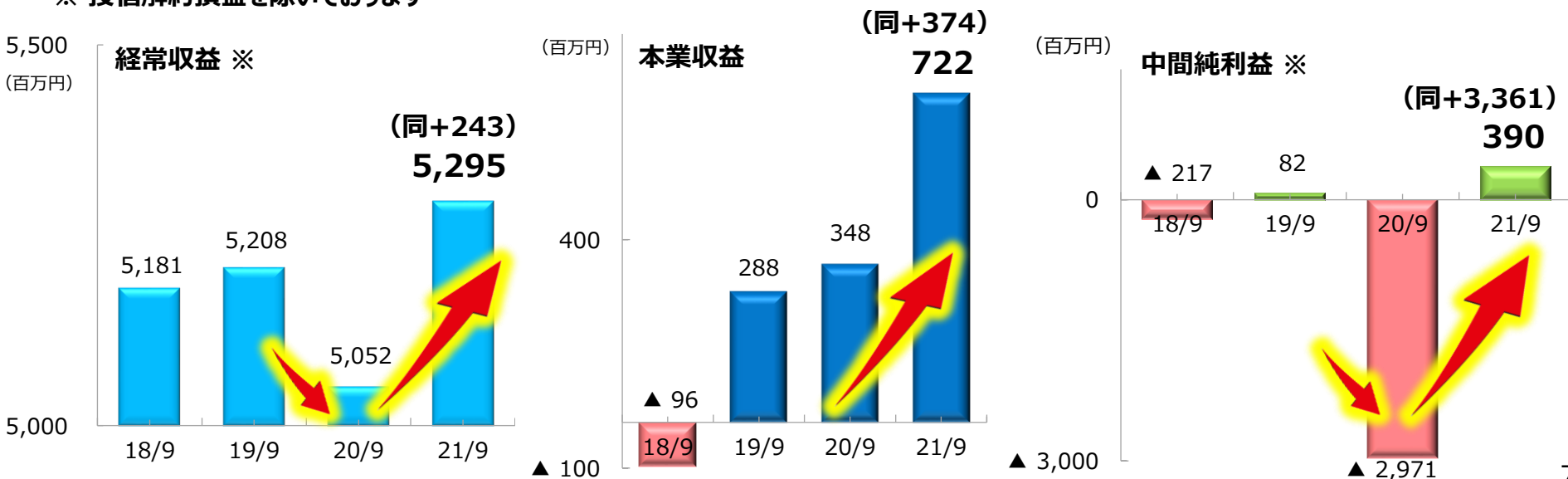
主要項目（投信解約損益を除く）（百万円）

	18/9	19/9	20/9	21/9	前年 同期比
経常収益 ※	5,181	5,208	5,052	5,295	243
本業収益 (投信解約損益除く コア業務純益)	▲96	288	348	722	374
中間純利益 ※	▲217	82	▲2,971	390	3,361
投信解約損益	288	173	714	—	▲714

※ 投信解約損益を除いております

投信解約損益を除くと主要項目は増収増益

- 2020年第2四半期に有価証券含み損を一掃。その際発生した**投信解約損益+714百万円**を除く**経常収益**は、前年同期比**+243百万円**。同様に**中間純利益**も同**+3,361百万円**となり2021年9月期は**実質増収増益**
- **ふくぎんV字回復プラン**を着実に進展



- 預金と預かり資産を合わせた残高は、前年同期比 + 244億円増加し、8,714億円
・ うち預金残高は、同 + 146億円増加し、7,756億円。預かり資産残高は、同 + 98億円増加し、957億円
- 預かり資産の販売額は、投信が同 + 56億円増加したものの、保険は同 ▲ 21億円の減少
- 預かり資産の販売手数料は、投信販売手数料などにより同 + 1.1億円増加し、6億円と順調に推移

預金 + 預かり資産の残高推移

	18/9	19/9	20/9	21/9	(億円) 前年同期比
預 金	7,257	7,288	7,610	7,756	146
個人	5,010	4,902	4,989	5,042	53
法人	1,721	1,837	2,084	2,225	141
地公体	462	478	493	452	▲ 41
預かり資産	858	890	859	957	98
投 信	427	399	330	388	57
保 険	389	456	499	544	45
公共債	41	35	29	24	▲ 4
合 計	8,115	8,178	8,469	8,714	244

預かり資産 販売額推移

	19/上期	19/下期	20/上期	20/下期	21/上期	(億円) 前年同期比
投 信	93	102	62	108	119	56
保 険	37	49	57	54	35	▲ 21
公共債	0	0	1	1	1	▲ 0
合 計	131	153	121	163	155	34

預かり資産 販売手数料推移

	19/上期	19/下期	20/上期	20/下期	21/上期	(億円) 前年同期比
合 計	4.7	5.2	4.8	6.5	6.0	1.1

- 貸出残高（私募債含む）は、6,086億円。前年同期比＋223億円の増加
 - ・ 事業性貸出（私募債含む）は、新型コロナウイルス対応融資の増加により、同＋212億円の増加
 私募債は、21年上期に73件（51億円）受託し、同＋71億円の増加
 - ・ 消費性貸出については、住宅ローン実行の増加により、同＋92億円の増加
 - ・ 事業性融資先数は中期経営計画の最終年度数値目標6,000先に対し、21年9月末時点で5,600先に到達
- 貸出平均約定金利は、住宅ローン貸出金利が0.99%と低下し、総貸出金利は1.19%に低下

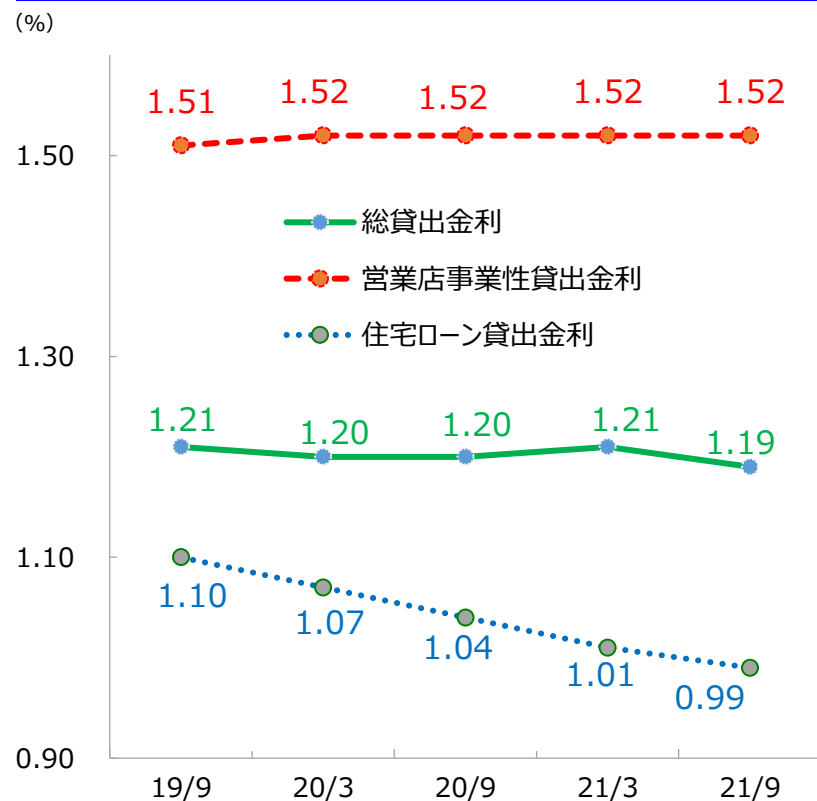
貸出 残高推移

	18/9	19/9	20/9	21/9	前年同期比
事業性	2,098	2,259	2,852	3,064	212
営業店	1,764	1,796	2,112	2,280	167
私募債	94	190	312	383	71
本 部	239	272	427	400	▲26
消費性	1,776	1,853	1,967	2,059	92
住宅ローン	1,469	1,551	1,682	1,785	102
消費者ローン※	287	283	269	260	▲9
総合口座貸越	19	18	15	14	▲1
地公体	1,067	1,004	888	832	▲55
その他	194	153	154	129	▲25
合 計	5,137	5,270	5,863	6,086	223
平 残	4,992	5,179	5,692	5,982	290
事業性融資先数	4,741	5,007	5,410	5,600	190

（※消費者ローンはカードローンを含む）

【無断転載禁止】

貸出平均約定金利

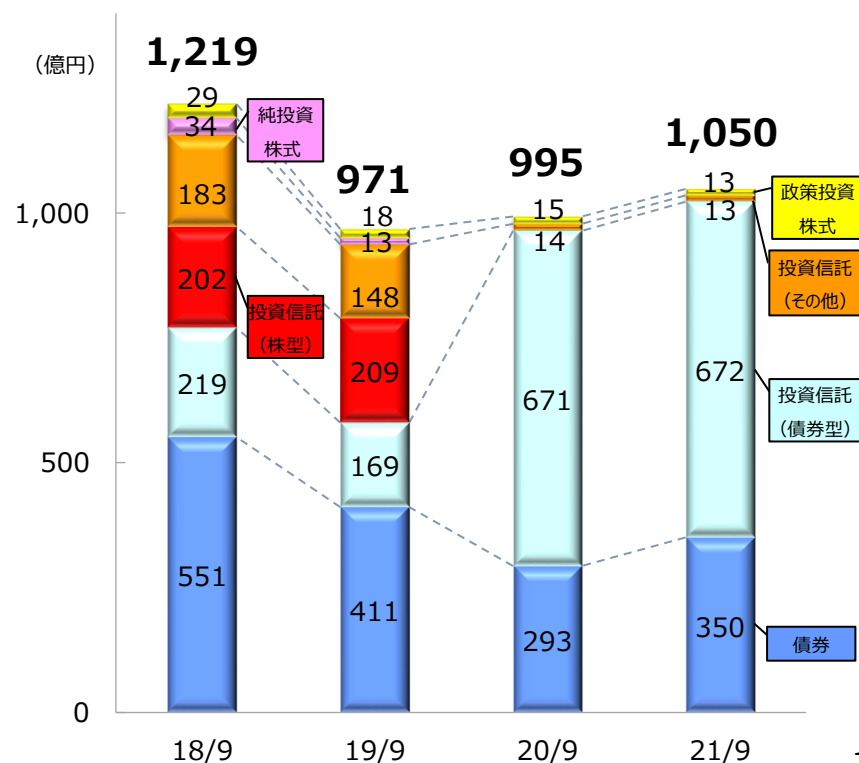


- 有価証券の残高は1,481億円。前年同期比+118億円の増加
 - ・ 債券中心の元本毀損リスクの低いインカム運用方針のもと、国内債が増加
- 有価証券の評価損益は+2.3億円。同+0.6億円の改善
- 有価証券のポートフォリオについて、SBIグループへの委託に切り替えたことにより、債券中心の運用に変更し低コストで安定した収益を目指す

有価証券 残高推移

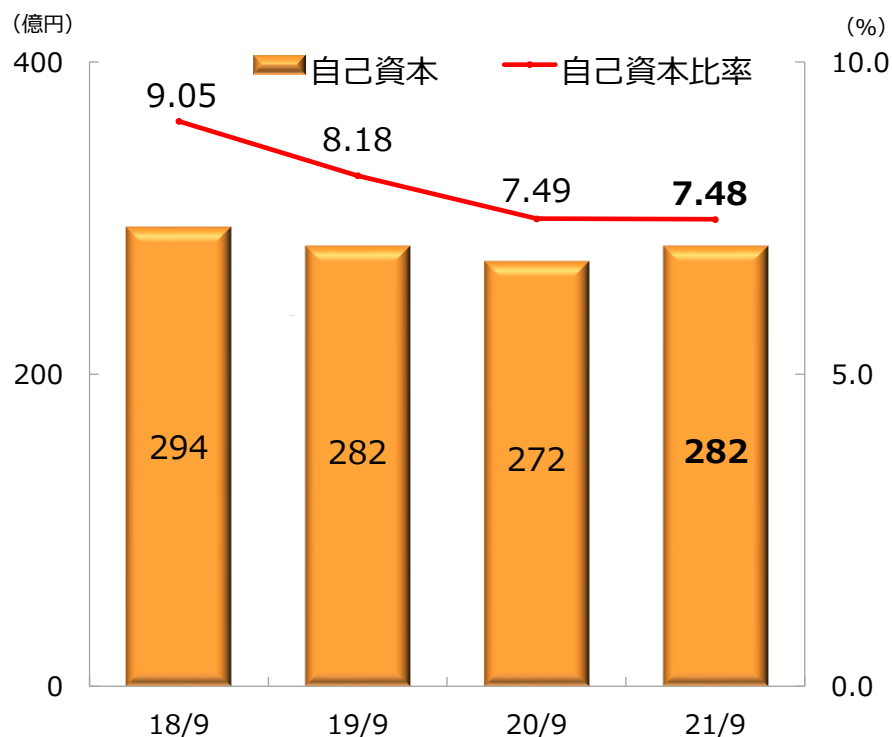
	18/9	19/9	20/9	21/9	前年同期比
債券	665	723	654	774	120
国内債	624	678	617	751	134
外国債	40	45	36	23	▲13
投資信託	596	514	671	672	0
外債型	219	169	671	672	0
株式型	202	189	—	—	—
その他	174	155	—	—	—
株 式	70	39	22	21	▲1
そ の 他	9	12	14	13	▲0
合 計	1,341	1,290	1,363	1,481	118
保有有価証券の 評価損益	▲7	▲13	1.7	2.3	0.6
債券の デレージョン(年)	6.4	7.5	9.7	9.7	▲0.0

その他有価証券残高の推移

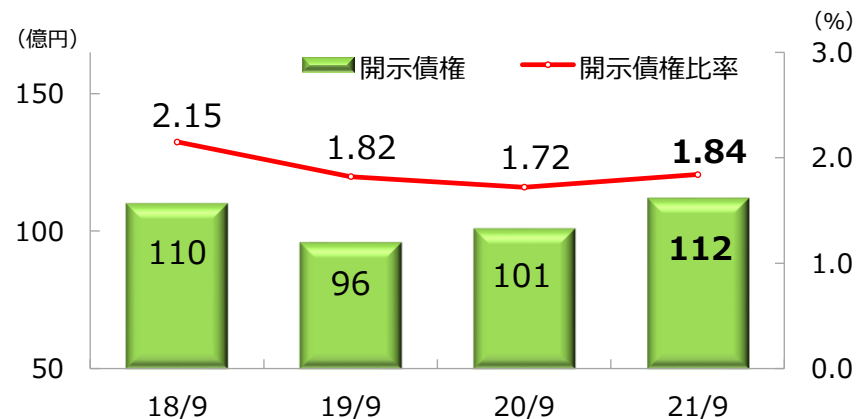


- 自己資本比率は、貸出資産の増加により7.48%（前年同期比▲0.01%）としたものの、国内基準（4%以上）を上回る水準を維持。連結自己資本比率は7.89%
- 金融再生法開示債権は、112億円（同+10億円増加）
金融再生法開示債権比率は、1.84%（同+0.12%）と低水準を維持
- 与信関連費用は、3.1億円（同▲0.5億円減少）

自己資本比率



金融再生法開示債権比率



与信関連費用

(※) 一般貸倒引当金繰入額 + 個別貸倒引当金繰入額
+ 貸出金償却等 - 貸倒引当金戻入額

18/9	19/9	20/9	21/9	前年同期比
1.5	▲1.2	3.7	3.1	▲0.5

- 2021年度（2022年3月期）は、単体で当期純利益 6億円を見込んでおります。
・ 貸出金利息、受入手数料の増加、および経費の削減により利益を確保いたします。
- 2021年度（2022年3月期）の配当は、1株あたり 2円を予定しています。

2021年度（2022年3月期）決算予想

(億円)

		20/3月期 実績	21/3月期 実績	22/3月期 予想
単 体	経 常 収 益	113	111	106
	経 常 利 益	4	▲17	7
	当 期 純 利 益	3	▲17	6
連 結	経 常 収 益	134	133	129
	経 常 利 益	4	▲17	7
	親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	4	▲17	6

3. SBIグループとの連携

～ 2021年度上期の手数料収入において1億円超の増加に貢献 ～

個人	利便性向上 AI導入	● AI プラットフォーム『DataRobot』で開発したAIの導入	AIでビックデータを分析することにより、お客さま一人ひとりのニーズに沿った金融商品の紹介をするなど営業を高度化
	資産形成	● 共同店舗「福島銀行SBIマネープラザ郡山」の運営	ネット証券最大手であるSBI証券の金融商品・サービスを、対面による質の高いアドバイスと共に利用可能
	利便性向上 DX導入	● バンキングアプリの提供	アプリでの口座開設（来店不要、印鑑不要、通帳レス）や、家計簿アプリ「一生通帳by Moneytree」を提供
	利便性向上 DX導入	● 住信SBIネット銀行の『ミスター住宅ローンREAL』および『フラット35』の提供	当行ホームページから、住信SBIネット銀行の住宅ローンの各種申込手続き等がWEB上で利用可能
個人・法人	補償の充実 低コスト	● SBI損保の「自動車保険」「火災保険」の提供	WEBで完結する「自動車保険」や、住宅ローンのお客さまが必要な補償を自由に選べる「火災保険」を提供
	補償の充実	● 住宅ローンおよび各種ローンに団体信用生命保険を付保	住宅ローンのほか、事業者、医療従事者および個人向けの各種ローンに団信を付保し、万が一の時に備えた安心を提供
法人	本業支援 DX支援	● 『ふくぎんビジネスマッチングシステム』（ふくぎんBMS）の提供	お取引先のビジネスマッチングニーズ等を登録・データベース化し、高精度で成約確度の高い販路開拓や事業課題の解決等を実現
	業務効率化 DX支援	● クラウド型ワークフローシステム「承認Time」、「経費Bank II」、および「勤怠Reco」の提供	社内のあらゆる書類の申請、承認、回覧、保管を電子承認フローに載せられるクラウド型ワークフローシステムを提供
	利便性向上	● SBIレミットの海外送金サービスの提供	地域企業が抱える外国人労働者のために、簡単で利便性の高い海外送金サービスを提供
	人材支援	● 理系人材の採用支援サービスの提供	地域企業が必要とする技術職・研究職などを、理系人材マッチングサービスにより採用を支援
	人材支援 DX支援	● スキマバイトサービス「タイミー」の提供	アルバイト人材が必要な企業と、働きたい人の時間をスマホアプリでマッチングさせ多様な雇用形態を支援



～ 法人のお客さまへの本業支援サービス ～ 販路開拓・ビジネスマッチングなど課題解決をサポートいたします

DX支援

● ふくぎんビジネスマッチングシステム「ふくぎんBMS」の提供

(2021年9月～)

- リンカーズ社のシステムを導入し、お客さまのビジネスマッチングニーズや事業課題を登録・データベース化
- 多くのお客さまに案件情報を配信し、より成約精度の高いビジネスマッチングを実現

～ ビジネスマッチング ニーズ例 ～

- 仕入、外注（買いたい）
- 販路、受注、請負（売りたい）
- 人材採用、育成
- 不動産（購入、売却、賃貸借、建設）
- 事業承継
- 経営支援（労務管理、社内DX整備など）



お客さまの事業課題の解決や販路開拓支援などのソリューションを提供することで
地域経済の活性化や地方創生に貢献してまいります。

～ 法人のお客さまへのサービス ～

企業のDXをサポートいたします

DX支援

中小企業向けに、業務効率化・生産性向上のための、低コストかつ短期間で導入できるサービス

● クラウド型ワークフローシステム「承認Time」「経費Bank II」の提供 (2020年1月～)

「承認Time」とは、社内のあらゆる書類の申請、承認、回覧、保管を電子承認フローに載せられるクラウド型ワークフローシステム

● クラウド型勤怠管理システム「勤怠Reco」の提供 (2021年5月～)

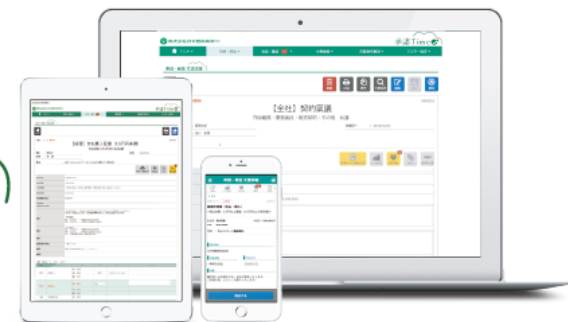
「勤怠Reco」とは、社員の出退勤・休暇取得の記録、シフト管理などの労務管理をWeb上で完結できるクラウドサービス

～ 主な特徴 ～

- スマホやタブレットで外出先からもアクセス可能。在宅勤務など多様な働き方に対応し、テレワークにも安心
- クラウド型なのでWebで完結、ペーパーレス化を推進。意思決定の迅速化、事務作業の削減、労務管理の効率化などが進み、働き方改革を推進し、生産性が向上
- 「承認Time」「経費Bank II」「勤怠Reco」のご成約件数 No1 (10月末時点、提携金融機関中)

「申請」から「承認」「保管」まで意思決定をスピードアップ

承認 Time



～ 個人・法人のお客さまへのサービス ～ 万が一の時に備えた安心を提供

● SBI生命との「住宅ローン団信」および「各種ローン団信付保商品」の提供 (2021年1月～)

- 「団体信用生命保険」とは、対象ローンをご利用のお客さまが死亡・高度障害となられた場合、その時点のローン残高を保険金で完済
- がんを含む8大疾病をはじめとしたすべての病気やケガにより、所定の就業不能状態が継続した場合に保険金（月々のローン返済額、ローン残高相当額）が支払われる
- 『事業者専用』『医療従事者専用』および『個人専用』団信を各種ローンに付保し、万が一の時に備えた安心を提供
- SBI生命団信取扱ローン残高、2021年10月末100億円達成



ローン金利 ^{プラス} **安心** (年0.5%目安)
(事業性・消費性)

♡ 保障内容イメージ(団体信用生命保険の概要)



※保険金等のお支払いには所定の条件があります。被保険者のしるに記載の契約概要・注意喚起書等をご確認ください。



詳しくはフリーダイヤルまでお問い合わせください。また、店舗に資料等もご用意しております。
0120-76-2940
(受付時間) 平日08～18時(土・日・祝日を除く)
<https://www.fukushimabank.co.jp/>



福島銀行
(2021年1月4日現在)

4. 2021年度の主な取組み

相馬支店の移転・新築オープン

2021年10月11日（月）、相馬支店を相馬市字大町から同市桜ヶ丘150-1（桜丘小学校近く）に移転・リニューアルオープンいたしました。

新店舗は、広くゆったりした駐車場や、入口にはスロープを設けバリアフリーに対応するなど、お客さまに便利で安心してご利用いただける店舗となっております。

役職員一同新たな気持ちでスタートをきり、お客さまにより質の高い金融サービスを提供できるよう一層努力してまいります。



事業活動を通じた地域貢献

● 100周年記念 ふくしま応援定期預金

「わくわくじら」（2021年10月1日～2022年3月31日）

創業100周年記念事業の一環として、地元への感謝の気持ちを含めてご提供する定期預金です。

当行は、SDGsの取組みの一環として、障がい者の支援・ボランティア等に力を入れており、福祉活動を応援するため「わくわくじら」のお預り金額に応じて、福島県内の福祉関連団体等へ寄付を行います。



● 各種寄付型私募債の取扱い

SDGs危機管理サポート私募債（2020年4月～）

東日本大震災や令和元年東日本台風被害さらには新型コロナウイルス感染症の拡大等の危機管理にあたり、地域金融機関として、お客さまと共にサポートを図るため、県・市町村等自治体や学校等に、私募債発行手数料の一部を寄付する取組みを行っております。

（寄付型私募債受託額 累計76件、66億1千万円）



SDGs危機管理サポート私募債受託に伴う寄贈式（郡山市に寄贈）

地域貢献活動の取組み

● 行員ボランティア活動

地域社会の一員として、地域イベントのお手伝いや商店街・駅前等の清掃活動、海岸の清掃活動などに幅広く参加し、地域に根差した社会貢献活動を継続的に行っております。

(2021年度上期ボランティア活動実績のべ694名)



● 集団献血

集団献血を継続的に実施しており、昨年度は30年以上の活動の協力に対して厚生労働大臣感謝状が授与されました。

(2021年度上期献血のべ61名)



● 第10回 障がい者施設製品大展示即売会

障がいをお持ちの方々の自立をサポートすることを目的に、例年県内の授産施設約90事業所が参加・出展され、本店地下大ホールにて大展示即売会を開催してきました。

今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「カタログ販売」（10/11～11/12）で実施いたしました。

クッキーやお煎餅、キーホルダー、小物革製品など県内50事業所の手作り商品を詰め合わせした「お楽しみ袋」は大変多くのお客さま・お取引先にご購入いただき、授産施設事業の活動を支援することができました。



【2021年9月末現在】

本社所在地	福島県福島市万世町2番5号
電話番号	024-525-2525（代表）
設立年月日	1922（大正11）年11月27日
資本金	186億円
株主数	13,524名
従業員数	640名（うち正社員489名）
店舗数	57店舗（5出張所、2リムンション・ラザ、 10ン・ラザ、1ネット支店含む）
預金残高	7,756億円
預かり資産	957億円
貸出金残高	6,086億円（私募債含む）
自己資本比率	7.48%（単体）、7.89%（連結）
金融再生法 開示債権比率	1.84%
連結子会社	(株)ふくぎんリース&クレジット（2021年4月1日合併） (株)東北バンキングシステムズ 福活ファンド投資事業有限責任組合

（お問い合わせ先） 株式会社福島銀行 総合企画部 猪股徹也、市川清人 TEL：024(525)2525 FAX：024(536)5338

本資料には、将来の業績および計画等に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績に影響を与える不確実な要因によって将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。また、事業戦略や業績など、将来の見通しに関する事項には、一定のリスクや不確実性等が含まれております。